

萩市立

萩図書館の概要



撮影 漆原 宏

萩図書館

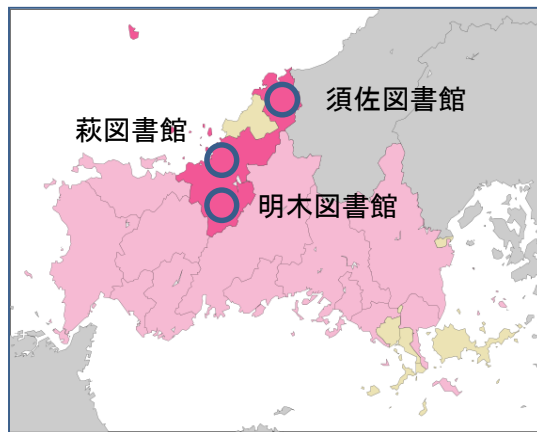
「萩市の概況と図書館サービス」

○萩市の

総面積 698.31km²：県土の約11.4%

人口 43,275人(R5.3月末)：県人口の3.3%

高齢化率 44.8%(R4.10.1)：全国平均 29.1%
：県平均 35.2%



○萩市は

毛利氏36万9千石の城下町として栄え、

また、明治維新の原動力となった人材を輩出した。

平成17年3月に1市2町4村が合併し新萩市が誕生した。

「5つの良し」のまちづくりの基本政策を掲げ、地域力を向上し、活力を創生するまちづくりに邁進している。

○図書館サービスは

萩、須佐、明木の公共図書館3館を中心に、移動図書館車2台、田万川地域に地域開放型図書館1館、公民館図書室15室をネットワークで結び、施設間の資料の送付は萩市の通送便を活用している。

○萩図書館の沿革

明治34年	1月	日本で最初の郡立図書館、県内最初の公立図書館として阿武郡立萩図書館が萩中学校内に開設
大正12年	4月	山口県立萩図書館と改称
昭和49年	3月	「一県一館」の方針により県立萩図書館は閉館
昭和49年	9月	萩市立図書館が新設 貴重資料の一部4万点が県より移管
平成4年	10月	移動図書館 開設
平成13年	10月	わくわく子ども図書館 開設
平成23年	3月	新萩図書館が児童館との複合施設として開館 NPO萩みんなの図書館との協働運営
平成25年	12月	新図書館入館者100万人達成
平成26年	8月	国立国会図書館デジタル化資料の送信サービス開始
平成29年	1月	新萩図書館入館者200万人達成
	3月	「藩校明倫館デジタルアーカイブ」開設
平成30年	3月	「第2次萩市子ども読書活動推進計画」策定
令和2年	10月	新萩図書館入館者300万人達成
令和3年	3月	開館10周年記念セミナー開催 「10年のあゆみ」発行
令和5年	2月	システム更新 スマートフォン画面での貸出サービス開始

萩図書館（児童館との複合施設）

1. 基本方針（めざす図書館）

- 1 市民のだれもが気軽に利用できる図書館
- 2 子どもの創造性を育む図書館
- 3 ひとつづくり・まちづくりの源となる図書館
- 4 市民の暮らしに役立つ図書館

2. 施設

○延床面積 2914.29㎡ 1階：1944.65㎡
2階：950.44㎡ 屋上階：19.2㎡

○構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建

○主要室 1階：一般図書コーナー

児童図書コーナー

ティーンズコーナー、PCコーナー

新聞・雑誌コーナー、視聴覚コーナー

朗読室、喫茶コーナー、事務室

2階：調査・研究（レファレンス）コーナー、明治維新関連資料コーナー

郷土資料コーナー、学習室、研修室、情報関連ホール

一般図書コーナー、閉架書庫

○児童館内のわくわく子ども図書館（約114㎡）



撮影 漆原 宏

3. 資料

○資料数 約24万7千点（R5.3末）

○資料購入費 1,073万円（令和4年度）

4. 職員（R5.4.1現在）

○市職員 3名（内、司書1名）

○NPO法人 理事5名、監事2名、会員約100名

職員18名（内、職員理事2名、司書15名／外、保育士等）

5. 開館日・開館時間

○開館日 原則年中無休 ※2月の第1月曜日から3日間は資料点検のため休館

※子ども図書館：夏休みを除く毎週火曜日、12/28～1/5、8/13～16

○開館時間 午前9時～午後9時（12/28～1/4は午後5時閉館）

※2階、カウンター、視聴覚コーナー、PCコーナーは午後7時閉鎖

※書籍は自動貸出機で午後9時まで貸出可能

※子ども図書館：午前9時30分～午後6時

6. 利用状況（令和4年度）※大雪のため17時閉館（1日）、図書館システム更新のため18時閉館（1日）

○入館者数 18万8千人（昨年度 17万2千人）

○1日平均入館者数 491人（昨年度 491人）

○貸出点数（個人） 23万1千点（昨年度 24万1千点）

○延利用人数 6万9千人（昨年度 7万人）

○自動貸出機利用状況 80.3%（昨年度 83.8%）

○夜間（19時以降）利用状況 1日平均 41人（昨年度 41人）

○電子図書館利用状況 登録者 3,730人 閲覧数 6,460回 貸出点数 3,850点

○読書通帳作成状況（導入時から累計） 6,319人（内高校生以上有料発行 925人）

「萩図書館の特色ある取り組み等」

1 市民参加の運営

- ① NPO法人との協働運営…………… P4
- ② 維新資料の充実・
レファレンス専門員制度…………… P5
- ③ 雑誌スポンサー制度…………… P6



2 全国に先駆けたサービス



- ① 行政資料情報のワンストップサービス…………… P6
- ② 読書通帳機の導入…………… P7
- ③ 電子図書館の開設…………… P8
- ④ 国会図書館のデジタル化資料受信サービス…………… P9
- ⑤ 自動貸出機…………… P9
- ⑥ 公衆無線LAN…………… P9

3 コミュニティの場としての運営

- ① 市民のサロンとしての機能の充実…………… P10
〔 原則年中無休、12時間開館
飲食・談話コーナーの設置等 〕
- ② 「子ども図書館」は情報交換の場…………… P10



4 共同事業

- ① 『萩のまち文学散歩』出版 ② 『萩藩主要役職者年表』出版
- ③ 『オリジナルクリアファイル』作成…………… P11

5 宣言「私たちがめざしていること」…………… P12

1-①

NPO法人との協働運営

○文化施設のパブリックサービスを行政と市民の「共助」で推進

- ・市民目線で図書館サービスと啓発普及活動を行う。
- ・市民の社会参加の場としてボランティア活動を推進する。
- ・NPO職員の資質の向上と雇用の安定を図る。

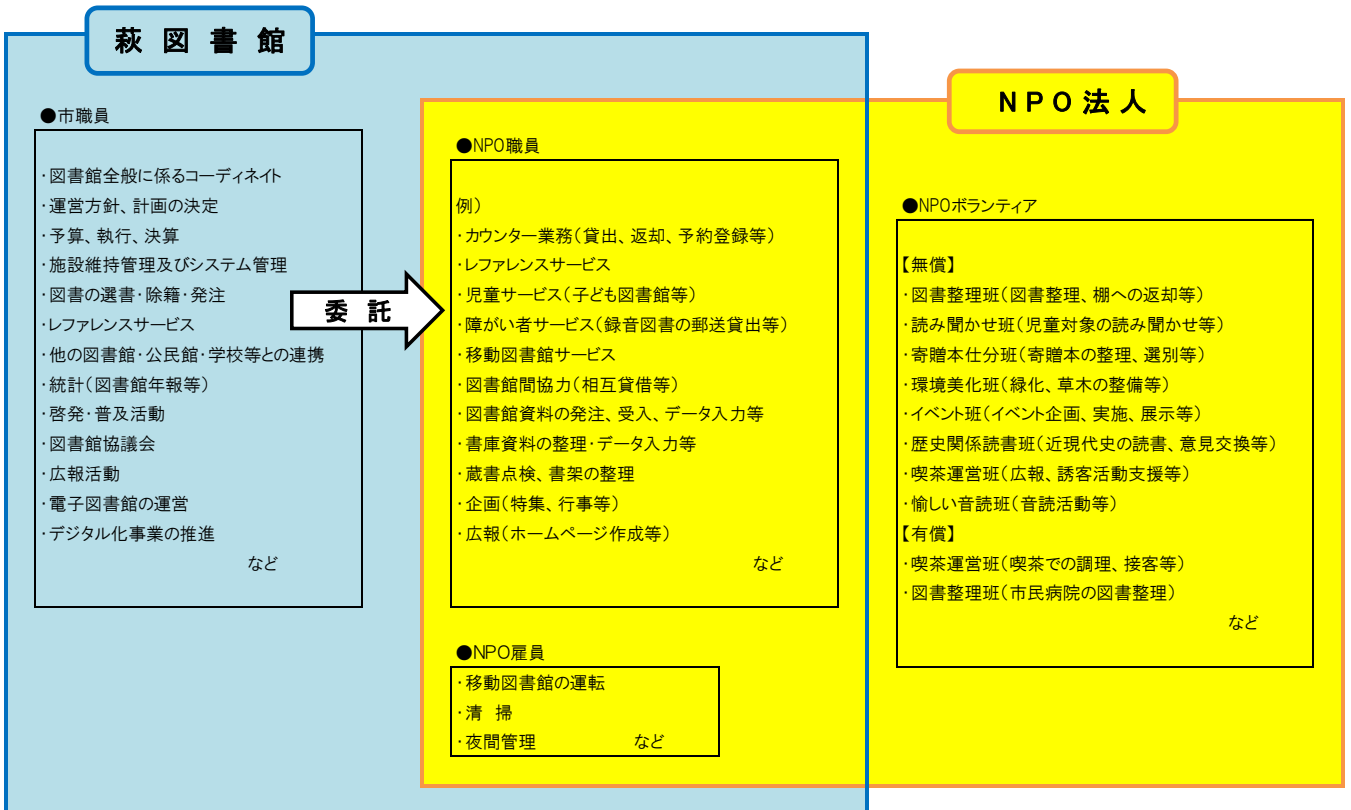
○特色

- ・萩市の直営でNPO法人と協働する運営形式。
- ・運営の方針等は萩市とNPOで協議する。
- ・NPO法人は職員を雇用して受託業務を行い、
会員は自主的なボランティア活動で図書館を支援する。



カウンターの様子
(NPO職員が担当)

○協働の運営体制



■関連資料の充実

県下で最も歴史ある公立図書館として、郷土史・維新史の、調査・研究の支援機能を高めるため、意識して資料の収集・保存に努めている。

- ①県立図書館時の資料 40,217点（閉架）
- ②維新資料 3,774点 郷土資料 22,212点



明治維新関連コーナー

■レファレンス専門員制度

○目的

- ・郷土史・維新史に関するレファレンスサービスの質的向上
- ・市民の社会貢献の場として共助の推進
- ・NPO職員のレファレンススキルの向上

○実施方法

- ・明治維新史学会会員・山口県地方史学会会員の中から8人を委嘱
- ・毎週金・土曜日の2日、レファレンス専門員とNPO職員各1名がレファレンスカウンターで、調査・相談業務を行う



郷土史・維新史調査相談

○業務内容

- ・郷土史・維新史に関するレファレンス対応
- ・参考図書を選書とレファレンスツールの作成
- ・NPO職員のレファレンススキルの育成



市民講座「夏の歴史館」

・市民講座「夏の歴史館」の開催

- 講座名：「桂小五郎の大和魂」「吉田松陰の生涯」
「吉田松陰とその妹たち」「蛤御門の変」
「萩の乱」「桂小五郎と幾松」
「近代京都の生みの親・榎村正直」
「幕末 長州戦争と大村益次郎」
「鉄道の父・井上勝」「前原一誠と奥平謙輔」
「山田顕義とその一族」「日本の城…そして萩城」など

○目的

- ・ 雑誌コーナーの充実と予算の節約
- ・ 地元企業の社会貢献の場としての共助の推進

○契約方法

個人や企業のスポンサーが直接契約し
図書館には発売日に書店から直接配達

○市民へのスポンサーアピール

- ・ 提供誌の最新号カバーに
 - ・ 配置場所に
 - ・ 雑誌架側面に
- スポンサー名を表示

○協カスポンサーと雑誌数（令和4年度）

74件、138誌（239誌中） 約62%



2 全国に先駆けたサービス

2-①

行政資料情報のワンストップサービス

○目的

- ・ 行政資料提供サービスの一元化
- ・ 行政資料等の計画的・網羅的収集
- ・ 課題解決型図書館推進の1事業

○内容と収集方法

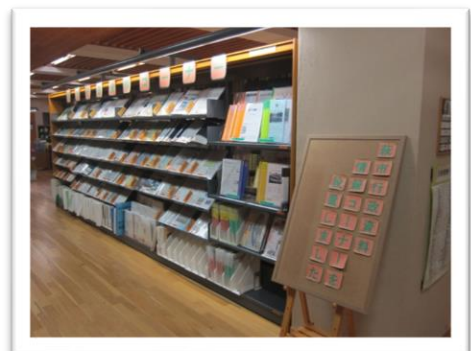
- ・ 基本計画/調査報告書/予算書/決算書/防災計画等
- ・ ホームページからの情報収集と本庁関係各課と連携した収集

○設置数（令和3年度）

48課10団体/286件



行政資料



行政資料情報コーナー

○目的

読書普及活動推進の一助

○発行対象

・中学生以下 無料 ・高校生以上 300円

○記帳方法

- ・直接本人が萩図書館に来館
- ・移動図書館利用者は図書館職員が預かる場合も

○特色

- ・全域の市民が利用できるよう、貸出後6ヶ月間印字可能
- ・ハローブック事業推進の一助として活用



記帳した読書通帳



読書通帳機

ハローブック事業（読書通帳を活用）

○目的

読み聞かせをとおり、赤ちゃんと保護者の心ふれ合うきっかけづくりを推進

○推進方法

- 母子手帳交付時に
4点セットを保健師が渡し、誕生後の図書館来館の口添え
 - 「0.1歳におすすめの絵本」リスト
 - 妊娠中の方にお薦めする本のリスト
 - 図書館の「利用案内」
 - 「図書館貸出カード申込書/読書通帳申込書」
- 誕生後の図書館来館時に 3点セットを図書館員がプレゼント
 - 「読書通帳」
 - 「図書館バック」
 - 「貸出カード」



4点セット

○期待する効果

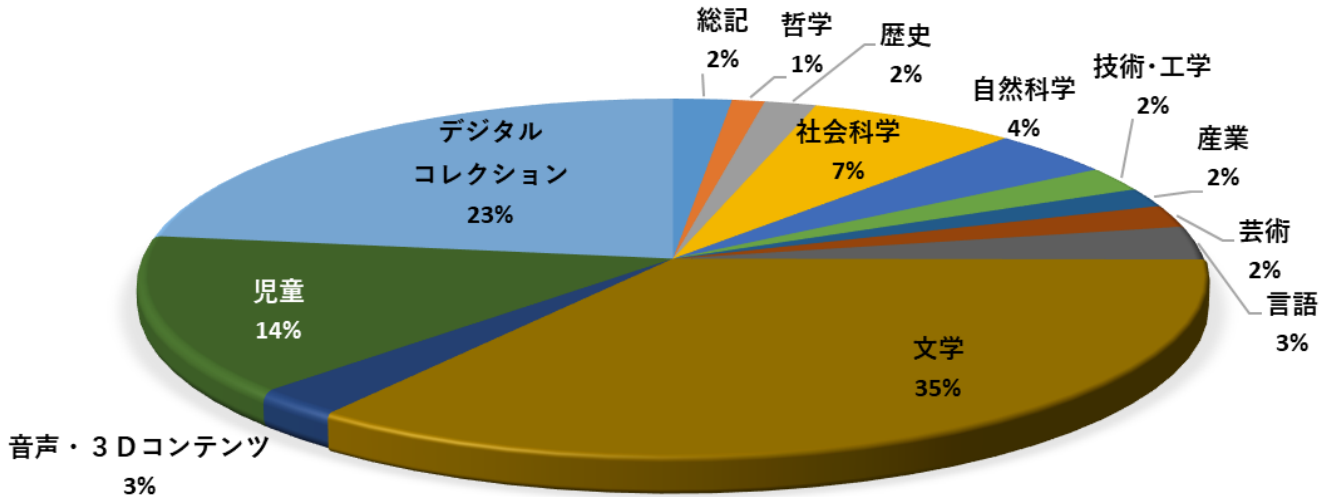
- 母子手帳交付時に渡すことにより、胎児への声かけや読み聞かせが良い影響を与えるということを知らせる機会となる
- 誕生した子どもへの読み聞かせの記録が読書通帳に残せ、読書啓発の1手段として活用できる



3点セット

- 対応OS Microsoft Windows XP SP3以降 Internet Explorer6 SP2以上
タブレット端末 iPad Android スマートフォン
- プラットフォーム TRC-DL
- 利用対象 市民、通勤通学者、ふるさと寄付者等
- 貸出期間/ 点数 2週間 1人 5点まで
- 電子書籍数 3,688点(令和5.3末)

コンテンツの内容
(電子書籍：2,861点・デジタルコレクション 827点)



デジタルコレクションの公開

○導入経緯

日本最初の郡立図書館・県内最初の公立図書館だったことから藩政期、明治期の貴重な資料4万点が所蔵されており、その整理・保存と利活用の推進のためデジタル化と公開に取り組む。

○内容

・藩校明倫館の蔵書・松下村塾蔵版本・郷土資料目録等
827点 (R5.3末)

○プラットフォームと予算措置

TRC-DL

「図書館振興財団の助成」と「住民生活に光を注ぐ交付金」



追懐録



八江菰名所図画

○サービスの概要（H26. 8. 1から開始）

- ・国立国会図書館の貴重資料や絶版などの理由で入手困難となった270万点の資料を萩図書館内のパソコンで閲覧

○閲覧可能なデジタル化資料（R5. 7月時点）

- ・図書（明治期～昭和62年） 86万点
- ・古典籍 江戸期以前の古典籍資料（貴重書等） 1万7千点
- ・商業出版されていない雑誌 約1万タイトル／83万点
- ・商業出版されていない博士論文（平成2年～12年度） 13万7千点
- ・その他コレクション等 2万点

1階カウンター横の
閲覧コーナー

○導入の経緯

- ・貴重資料を開架可能とするため、蔵書にICタグを装着した

1. 利用者にとって

- ・自動貸出機、返却ポストの設置が、プライバシーの保護に貢献。
- ・貴重資料が開架部分に配架されることによる閲覧の利便化。
- ・子どもが貸出業務を体験でき、読書啓発に貢献。
- ・対面しないためコロナ禍でも安心。

2. 図書館にとって

- ・自動貸出機の利用が80%を超え、カウンター業務が省力化。
- ・自動貸出機の利用増により職員がレファレンス業務に専念。
- ・夜間（19時～21時）開館時の管理者が1名で対応でき、コスト削減。



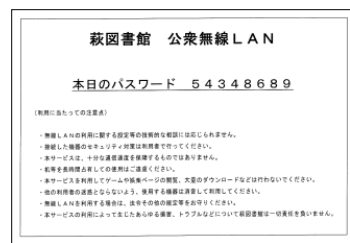
自動貸出機

○対応パソコン

ノートパソコン・スマートフォン・タブレット端末

○利用方法

カウンターで申込み（身分証明書の確認）
パスワード提供（利用統計のため毎日変更）



利用者に渡す パスワード

3-① 市民のサロンとしての機能の充実

○目的

基本方針の1つ「ひとづくりの源となる図書館」を目指すため、憩いの場・出会いの場・交流の場となる機能を充実

○内容

- ①開館日・開館時間の拡大
原則年中無休（休館日3日）
9時～21時まで12時間開館
（19時以降サービス縮小）
- ②飲食可能な談話コーナー設置
- ③館内にペットボトル持ち込みスペース設置（限定）
- ④NPOによる喫茶の運営



談話コーナー



喫茶

3-② 「子ども図書館」は情報交換の場

○子ども図書館の特色（児童館内に設置）

- ・司書資格・保育士資格を有する職員が常駐
- ・児童館内に設置のため、親子が安心してくつろぎ、楽しめる空間

○効果

- ・本に関する知識が豊富な司書と、子どもに関する知識が豊富な保育士がコラボで行う児童サービスが充実
- ・保育士資格をもった職員に育児相談
- ・行事参加者同士で、子育て情報交換の場として活用



司書・保育士による行事

『萩のまち文学散歩』 『萩藩主要役職者年表』 の出版



『オリジナルクリアファイル』 の作成



『私たちがめざしていること』

■平成28年3月21日の新萩図書館開館5周年を期に、市民と共に創り育つ図書館をめざし、「私たちがめざしていること」として宣言した。

私たちがめざしていること

私たちは、本を通じて人と人が出会い
未来へつながる心豊かな暮らしを
応援したいと考えています。

赤ちゃんからおとしよりまで
人生のそれぞれのステージで利用される
ぬくもりのある学びの場を提供しています。

私たちは、館内が少しざわついていても
それは未来をひらく声として
微笑しながら見守っています。
皆さまも、こうした考え方にご理解をいただき
共に支えていただきたいと思います。

小さなお子さまや、若い人を育てている皆さま
「ここは小さな実社会」です。

知識だけでなく、公共のマナーが
大切なことも伝えていきましょう。

そして、みんなが「お互い様」の気持ちで
伸びやかに過ごせる図書館に
育てていただければ幸いです。

平成28年3月21日
萩市立萩図書館



萩図書館全景

萩図書館

〒758-0041
萩市大字江向552-2

TEL 0838-25-6355
FAX 0838-25-5224
URL <http://hagilib.city.hagi.lg.jp/>
メール hagi_library@city.hagi.lg.jp

発行 令和5年7月